

場をつくっていただきたい。現在、三重県下の高等教育機関の卒業生で三重県内に就職する人の割合は45%なのですが、10%増やして55%まで上げたい。そういう目的でも、事業に取り組んでいただきたいですね。先日も市長に三重大学に来て講義をしていただきましたが、地域の経営者の方々にも、お話をしてもらって、その様子を撮影したものを、連携している高等教育機関の皆さんにも見ていただいています。学生が地元で就職するのに一番重要なのは雇用です。雇用を増やすには、地元の企業がイノベーションを起こして雇用力を付けることが必要です。そういった足腰の強い地域経済をつくっていくために、三重大学も努力をしていますし、県内の全高等教育機関も、地元に残る人を増やして地域を活性化するために動いています。

**市長** 半分以上の方が県内で就職して、さらに県外から大学進学で三重県に来て、津に入ってくる学生もそのまま就職していただければ結果として地域が活性化するということですね。

**鶴岡** 他県出身の学生で三重県に残る人が例年5%ほどいます。その割合も増やしていこうと思っています。

**市長** 力強い地域経済がなければ、市民の幸せな暮らしや子どもたちの明るい未来を展望することもできません。そういうことを示していく総合計画ですので、引き続きご審議のほど、よろしく願います。

**鶴岡** 市民の皆さまが幸せに暮らせるまちづくりを描く総合計画を、しっかり議論して進めたいと思います。市民の意見を反映するには市民の参加が非常に重要です。2月に開催された総合計画のオープンディスカッションには、10代から80代までさまざまな年代の方が参加なさっていました。私もオブザーバーとして、皆様のご意見をお聞きしましたが、自分たちのまちを自らつくっていくというエネルギーが感じられ、審議会のメンバーと共に総合計画をより良いものにしていきたいという思いがますます強くなりました。

**市長** オープンディスカッションもそうですが、さまざまな局面で市民の皆さまのご意見をいただくとうと、例えば市政インタビューをして、各種団体の方からご意見を伺うなどの取り組みもしています。審議会はもちろんですが市議会でも



の議論もありますし、いろいろなご意見を総合計画にぎゅっと凝縮していきたいと思います。私自身も、37地域で半年に1回ずつ開催する地域懇談会の場で市民の皆さまから直接いただく

## 生の声を取り入れる工夫 審議会をより良いものに

お声は、市政の展開にとって非常に大切だと捉えています。このように市民のご意見を踏まえた総合計画を

目指す取り組みの一環として、7月1日から計画案に対するパブリックコメントを募集します。7月22日の土曜日には「津のまち未来カフェ」というイベントを市役所本庁舎で開催します。こちらは、総合計画や津市の未来について市民の皆さまが自由に参加して語り合う意見交換会として企画しています。

**鶴岡** 素晴らしいことですね。パブリックコメントでいろいろな意見を聞き、津のまち未来カフェで生の意見を聞くということですから、ぜひ私も参加させていただきたいと思います。審議会でもそれらの意見を反映させながら総合計画をまとめていきたいと思っています。

**市長** ありがとうございます。今回の津市総合計画は、合併後12年目を迎えている津市の自立に向けて、選択と集中、メリハリの効いた計画にしたいと思っています。市民の幸せのための計画となり、結果として津市に住まう方が愛着を持てるまちとなるよう、私どもも志を高く持って全力で取り組んでまいります。引き続き審議のほど、よろしくお願いいたします。